

2023年10月12日

各位

三井住友ファイナンス&リース株式会社
SMFL 未来パートナーズ株式会社

株式会社 SMART による陸上風力発電所の解体工事の受注・着工について

三井住友ファイナンス&リース株式会社（代表取締役社長：橘 正喜、以下「SMFL」）と SMFL の戦略子会社、SMFL 未来パートナーズ株式会社（代表取締役社長：寺田 達朗、以下「SMFL 未来パートナーズ」）は、持分法適用関連会社である株式会社 SMART（代表取締役社長：佐野 拓也、以下「SMART」）が、コスモエコパワー株式会社（代表取締役社長：野地 雅禎、以下「コスモエコパワー」）から青森県の陸上風力発電所 2 箇所の既設発電設備解体工事を受注し、着工したことをお知らせします。

今般 SMART が解体する陸上風力発電所は、青森県東通村に所在する「岩屋ウィンドパーク」（設備能力：1,500kW×18 基）と、青森県六ヶ所村に所在する「むつ小川原ウィンドファーム」（設備能力：1,500kW×21 基）の大型風力発電所 2 箇所です。いずれも 2003 年に運転を開始しましたが、設備の老朽化に伴い 2023 年 3 月に運転を停止、新規設備への入れ替えを目的に既存の風力発電所を解体することになりました。

SMART は、株式会社アビズと SMFL 未来パートナーズの合弁会社として 2019 年に設立された、設備・プラント処分の元請事業会社です。株式会社アビズが持つ解体工事の監理・施工技術、リサイクル技術と、SMFL グループが持つモノに対する知見やノウハウ、中古設備のリユースネットワークなどを活かして、プラントの解体工事や設備の撤去作業から、不要となった機械・設備の再販・再資源化まで、ワンストップでサービス提供しています。100 メートルを超す煙突解体工事や大観覧車解体工事など、高所の解体工事実績を有していることに加え、解体工事によって生じる廃棄物の再資源化にも取り組んでいます。

SMFL グループは、再生可能エネルギーの風力発電分野において、新規開発案件のリース、プロジェクトファイナンスなど、さまざまなファイナンスサービスの提供に加えて、エクイティ出資による事業への参画を推進してきました。SMART が風力発電所の解体工事を担うことで、SMFL グループで風力発電所の新設から解体まで一気通貫でのソリューション提供が可能になります。

SMFL は、経営理念・経営方針を示す「SMFL Way」の Our Vision（私たちの目指す姿）の一つとして「SDGs 経営で未来に選ばれる企業」を掲げています。また、「環境」「次世代」「コミュニティ」「働きがい」の 4 つを重点課題に設定し、全社活動として SDGs に取り組んでいます。2023 年 4 月に開始した中期経営計画（2023-2025 年度）では、“幅広い金融機能を持つ事業会社の強みを追求し、社会課題の解決に挑戦”をテーマに掲げ、サーキュラーエコノミーの実現に向けた取り組みを推進していきます。

【解体工事中の陸上風力発電所写真】



以 上

【お問い合わせ先】

三井住友ファイナンス&リース株式会社

広報 IR 部

山本

TEL 03-5219-6334